

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成30年度 第4回）

開催日及び場所	平成31年2月18日(月)14:00~16:00 JA三重健保会館 3階 大研修室	
出席委員	委員長 木本 凱夫 副委員長 長谷部 拓哉 委員 堤 大三 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸 委員5名中5名出席	
審議対象期間	平成30年10月1日から平成30年12月31日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	3件	
指名競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 平成30年度 第4回定例会（平成31年2月18日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①復旧治山事業（一般） 第13号工事（鍛冶屋又）〔尾鷲農林水産事務所〕	
<p>同種工事で過去3か年同じ業者が落札しているが、これは一連の工事ということで同じ業者が落札しているのか。あるいは、ほかに理由があるのか。</p> <p>入札参加資格の地域要件について、紀北町のみであるが範囲が狭いように思われるが。</p>	<p>現地に一番慣れているということもある。落札業者は技術提案において現地をよく知っているということで評価が高く、また過去には基準価格あるいは基準価格に近い金額で入札しており、落札に対する意欲が高いと思われる。</p> <p>紀北町は紀伊長島町と海山町が合併した自治体で、業者数を考えても競争性は確保されていると考える。</p>
工事名 ②多気浄水場粉末活性炭注入設備改良工事〔南勢水道事務所〕	
<p>入札参加資格の地域要件の設定がないが、この工事に関しては県内では参加要件を満たす企業が少ないのか。</p> <p>落札率が高くなったことに対する説明の中で、工事による設備改良後、既存設備の正常な動作を担保する必要があることから経費が読み切れず、とあったが、この工事には施工後のメンテナンスまで含まれているのか。</p>	<p>はい。三重県内では少ない。</p> <p>メンテナンスではないが、活性炭注入設備の増設を伴う工事であり、増設によって既存設備である本体設備が作動しなくなるといけないので、そのあたりの調整の手間も含めて費用が読み切れなかったのではという意味である。</p>
工事名 ③主要地方道宮妻峡線（青木川橋）ほか 橋梁等補修設計業務委託〔四日市建設事務所〕	
<p>調査基準価格を下回った入札をしている業者がいるが、調査基準価格を下回る入札は結構あるものなのか。何か考えられる理由はあるか。</p> <p>入札の経緯を見ると開札の直前に業者に対してヒアリングを実施しているが、これは一般的なことか。</p>	<p>結構あると思う。予定価格は事前に公表しているが、調査基準価格は公表していないのでそこは業者独自の積算であるので理由はわからないが、調査基準価格に対して数万円下回るくらいなので、評価にも影響が少ないと思われる。</p> <p>はい。入札の前にヒアリングし、それを踏まえて業者に入札していただく。</p>

入札等監視委員会 平成30年度 第4回定例会 (平成31年2月18日)	
意見・質問	回答
<p>工事名 ④北勢沿岸流域下水道(南部処理区) 南部浄化センター第2期事業スクリーンポンプ棟(土木)建設工事〔北勢流域下水道事務所〕</p>	
<p>最終的に3者が評価点が同点でくじをしている。その3者のうち1者について、総合評価の評価項目、技術提案の特記課題3「周辺環境への配慮」が2者に比して高い点数がついているが、どこで差がついたのか。</p> <p>談合調査の結果、談合の事実が認められないという結果が出たが、入札事務と談合調査は並行して進められたのか。入札事務が進んでいる途中で入札参加業者が、談合調査が進んでいることを知ることがあるのか。</p>	<p>周辺住民への工事に関する情報の周知の工夫が他社に比して評価されている。</p> <p>今回は入札事務が進む中で談合情報が入ったが、その段階では調査は行わない。開札結果が談合情報と合致したので調査に入った。よって開札までの入札事務の途中で談合情報について業者が知ることはない。</p>
<p>その他</p> <p>・次回、平成31年度第1回入札等監視委員会の開催日は、平成31年5月27日(月)の予定とする。</p>	